

令和6年度第1回運営審議会 質疑・意見について

議題1	第3次厚木市立病院経営計画の点検・評価について	委員名 担当課	資料 番号
質疑1	(質疑1～4共通: 病院評価「C」となった項目は「B」や「A」にできますか) 病床利用率: コロナ対応の病床活用のため、実績が下がっていますが、稼働が高まる要因は何かありますか。	佐藤委員	資料 1
回答1	病床利用率については、健全経営に向けて喫緊の課題であることから、地域の医療機関訪問や紹介患者の外来受付時間延長などの取組を進めてきました。今年度については、新たに救急科専門医を常勤で配置するなど、救急医療体制を拡充することで、病床利用率の向上に取り組んでいます。	経営管理課	
質疑2	外来単価: 逆紹介でどのような患者を紹介していますか。単価が高い患者を逆紹介していますか。または、半年に1回などのフォロー検査をしていますか。	佐藤委員	
回答2	逆紹介については、地域医療支援病院として、地域の医療機関との役割分担及び連携を図るため、専門的な検査や処置を要する患者さんについては、病状が安定するまで治療や検査を継続しており、病状が安定した段階で、地域の医療機関への逆紹介を積極的に推進しています。	医事課	
質疑3	救急搬送件数: 救急医が増えたことで受入れが増加していそうですが、この数か月の受入れ及び応需の動向はどうか。平日昼間は高まっていますか。応需が低い診療科はありますか。	佐藤委員	
回答3	4月から救急医療体制の拡充を図ったことで、5月までの2か月間の救急応需件数は844件(前年744件)と前年比で100件(13.4%)増加しました。救急応需率については、81.1%(前年78.6%)と前年比で2.5%上昇しています。特に、平日日勤帯の応需率については、96.8%と非常に高くなっています。なお、外科系・内科系の症状で集計を行っておりますが、診療科による大きな差はありません。	医事課	
質疑4	がん手術件数及びがん入院患者数、東名厚木が対応していますが、市立病院で増やす対策をしていますか。	佐藤委員	
回答4	令和4年4月から神奈川県がん診療連携指定病院に指定され、令和5年8月に導入した手術支援ロボットなど、市民の皆様身近な市立病院で高度ながん治療が受けられる体制をホームページなどで広くアピールしています。また、地域の医療機関との連携強化や救急医療体制を拡充することで、新規の患者さんを増やすようにしています。	医事課	
質疑5	「入院満足度がA区分からB区分に低下していることから、施設面、接遇面でのサービス向上に取り組む必要があります。」のこと、具体的にはどのような内容をお考えなのでしょうか。早期退院は患者にとっても満足度と信頼感が上がります。診療報酬との兼ね合いで諸々の問題点があるかと存じますが御検討おねがいします。	堀委員	
回答5	施設面では、Wi-Fi利用環境の変更や杖置きを設置など、できることから順次取り組んでいます。接遇面では、委託業者を含めた取組を進めており、10月には職員を対象とした研修を予定しています。早期退院については、全国平均となる入院期間Ⅱを目安として医療を提供することにより、入院患者の負担軽減と入院期間の適正化に取り組んでいます。	病院総務課 施設用度課	

質疑6	市立病院の救急搬送受入件数が増加している事は、市民としては大変嬉しく存じます。今後さらに増加させる方策、人材確保などの案がございましたら教えていただけないでしょうか。	堀委員	
回答6	救急搬送件数については、令和5年度に過去最高を記録したものの、目標値には届いていない状況です。 このため、今年4月から救急医療体制の拡充として、新たに常勤の救急科専門医を配置するとともに、非常勤の救急医も増員したほか、宿日直帯の救急手当を拡充しています。 現状については、回答3のとおり、成果が表れていますので、今後についても救急医の拡充に積極的に取り組むとともに、救急センターがより効率的に機能できるよう、医師事務作業補助者を配置するほか、夜間帯の受入体制強化を図るため、救急科専門医の勤務時間について検討してまいります。	病院総務課 医事課	
質疑7	嚙下チームの回診数が急上昇し、口腔ケアラウンドも上昇逆紹介の数値が右肩上がりに上昇しており、歯科医師会といたしまして、感謝しています。また、これまでの周術期に係る外科、泌尿器ばかりではなく産婦人科、耳鼻咽喉科におきましても一定数以上のご紹介をいただき、令和5年度は413件となり令和4年度の282件と比較し約50%の伸びとなりました。誠にありがとうございます。 可能であれば、歯周病予防、疾病の重症化予防につながる糖尿病医科歯科連携事業の推進につきましても御検討いただきたく存じます。もしお考えがありましたら教えていただけないでしょうか。	堀委員	資料 1
回答7	周術期に口腔管理、口腔ケアを行うことにより、人工呼吸器関連肺炎に代表される手術に伴う、多くの合併症の予防が可能で、術後の回復促進にも寄与することも期待できます。このことから、周術期の口腔機能管理のため、手術を行う診療科において、歯科への紹介を推進しています。 糖尿病医科歯科連携事業については、常勤の糖尿病・代謝・内分泌内科の医師がおりませんので、各診療科で検討していくとともに、訪問歯科の先生に糖尿病教室で講演等をしていただくことも検討しております。	医事課	
議題2	令和6年度厚木市病院事業会計予算の概要について	委員名 担当課	資料 番号
質疑1	予算の値の根拠は何かありますか。昨年度に比べ、増減している項目がありますが、増減理由としてどのように理解していますか。	佐藤委員	
回答1	予算については、経営計画の収支計画に沿い、社会情勢の変化などを反映させながら編成しています。 収入については、1日当たり患者数を前年度と同数に据え置いた一方、単価については、これまでの実績などを反映させることで増加したため、前年度よりも増加しています。 支出については、経費削減などを徹底していますが、物価や賃金の上昇が避けられない状況であり、給与費や材料費の増加により、前年度よりも増加しています。	経営管理課	
質疑2	広報あつぎ特別号にて、「病院事業会計重点施策負担金 2億5000万円」とありました。この負担金は昨年度も同額でしょうか。この負担金、予算との関係はありますか。	佐藤委員	資料 2
回答2	重点施策負担金については、これまで2億円を計上していましたが、令和6年度については、「急性期医療の充実」を図るため、5,000万円を増額しております。	経営管理課	
質疑3	予算の中で、ふるさと納税額が減額されていますが、どのような理由でしょうか。	山口委員	
回答3	厚木市に寄せられたふるさと納税が減少している中で、病院を目的としたふるさと納税も減少したことから、減額しています。	経営管理課	

議題3	地域医療支援病院承認要件の実績について	委員名 担当課	資料 番号
質疑1	放射線治療の院内件数はどれぐらいでしょうか。収益性が心配になりますが、どのように共同利用を高めませんか。そもそも地域に患者が潜在していますか。	佐藤委員	
回答1	令和5年度の高エネルギー放射線治療の算定延べ件数は2,622件でした。共同利用を高めるためには、地域の医療機関との連携を深めるほか、放射線治療に携わる常勤医を確保していく必要があります。神奈川県におけるがんの罹患数は年々増加しており、神奈川県悪性新生物登録事業年報における令和2年の集計では、県央地区の罹患数は6,252件であることから、地域に潜在していると考えています。	医事課	資料 5
意見1	緩和ケア研修など外部の参加を許可していただき感謝しています。引きつづき宜しくお願いいたします。	堀委員	資料6
議題4	病院機能評価受審結果について	委員名 担当課	資料 番号
質疑1	病院機能評価の受審結果はどうでしたか。	伊藤委員	
回答1	資料7のとおり	病院総務課	資料7
	その他について	委員名 担当課	資料 番号
質疑1	2040年にむけて地域医療構想が再開するようですが、厚木地域はどうなっていますか。 また、2019年9月、診療実績が少なく、非効率な医療を招いている等のベッド数や診療機能の縮小なども含む再編必要がある424病院リストにおいて厚木市立は該当になっていません。しかし、産科と小児が要注意でしたが、今後、産科・小児科対策はありますか。	佐藤委員	
回答1	地域医療構想については、当院の経営計画においても重要な位置付けであることから、動向を注視するとともに、新たな地域医療構想が策定された場合には、経営計画にも反映させる必要があると考えています。 また、2019年9月に公表されたリストは、2017（平成29）年度の病床機能報告に基づき分析されたものであり、当院は、へき地医療と周産期医療で診療実績が少ないとされています。 産科については、無痛分娩外来の開始や医師の増員など力を入れており、平成29年度の分娩実績は237件ですが、昨年度は327件と、全体の出生件数が減少する中で、大幅に増加しています。小児・周産期医療については、自分が住む地域で、安心して子どもを産み、育てることができる環境を整備する上で、引き続き、厚木市として重要な政策的医療であると考えています。	経営管理課	-
質疑2	最近、外来患者に対するLINEを活用した「呼出通知サービス」を導入され待ち時間対策で大きな成果をあげられているものと思われます。 診療科が跨る、検査があるなどの制約があるとは思いますが、受診予約、予約の変更などに活用することはいかがでしょうか。外線電話の話し中での繋がらないことがあるようです。 また、担当の先生への問い合わせ、診断書などの依頼などにもご活用を御検討お願いいたします。	堀委員	
回答2	4月からLINEを活用した呼出通知サービスを開始したことで、外来診察前の待ち時間をより有効に過ごしていただけるようになり、これまでよりも快適な環境を提供できていると考えています。診察予約についても、4月から、紹介状をお持ちの患者さんを対象にホームページから予約ができる「紹介患者WEB予約システム」を開始しています。なお、予約変更は患者さんの診察状況等を考慮する必要があることから、電話対応としていますが、迅速かつ円滑に対応できるよう、対応窓口を増強するなどの取組を進めています。今後も患者さんのニーズに応えられるシステムづくりに取り組んでまいります。	医事課	